

恵那眼鏡工業 株式会社

SDGs宣言

2022年7月1日
恵那眼鏡工業 株式会社
代表取締役社長 丹羽 大祐

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、
事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SDGsの達成に向けた取り組み

「製品・サービス」

「皆様に飲んでいただけるメガネ」を作ることを理念に、グローバルな発想と柔軟な対応力で、世界のメーカーから眼鏡フレーム生産を受託し続けられるよう、お客様から選ばれる、持続可能な企業活動に取り組んでまいります。

＜主な取り組み＞

- ・「選ばれる企業」となるよう、品質・納期のご要望に応えながら、「掛け心地」「品質」「デザイン」を追求していきます。
- ・業界に先駆けて生分解性「アセテート樹脂」による眼鏡フレーム商品化した技術を活かし、ダミーレンズも環境配慮のため、生分解性素材を採用します。



「環境」

常にグローバルな視点で自然環境保全を考え、廃棄物の削減や再生可能エネルギー活用、環境配慮資材の積極採用により、「環境にやさしい」企業活動に取り組んでまいります。

＜主な取り組み＞

- ・眼鏡フレームの原材料「アセテートセルロース」の廃棄分を、再利用する工夫に努めます。
- ・太陽光発電設置による再生可能エネルギー利用に努めます。
- ・眼鏡の包装を「ポリ袋」から「生分解性素材の袋」に変更していきます。



「人権・働きがい」

良い製品を生産するためにも、社員がやりがいを持ち、常に挑戦し成長できる職場環境づくりに努め、社員の働きやすさと健康を第一にする経営を心掛けてまいります。

＜主な取り組み＞

- ・協会けんぽの「健康企業」を宣言し、社員の健康増進に努めます。
- ・2025年までに女性管理職が少なくとも1名誕生するよう、人材育成します。
- ・外国人技能実習生“優良実習実施者”の認定継続する体制を整備します。
- ・働きがい向上のためにも社員給与水準の底上げに取り組めます。



「地域貢献・社会貢献」

当社がこの地域で「メガネを作っている会社」と知ってもらえるよう地域や社会へ貢献し、次世代を担う子供たちへの教育に積極的に協力してまいります。

＜主な取り組み＞

- ・中津川市の産業技術に小学生が触れる工場見学「すぐ技中津川プロジェクト」へ引き続き協力します。
- ・地元観光資源である「苗木城」の活性化のため、寄付等支援をしていきます。
- ・地元生産段ボールを梱包資材に採用していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。